

部長通信

第3号

2018年6月発行

## 主題 愛し合い、助け合い、心はいつも青春

欠けた器である私たちですが、主なる神の救いと導きを得て、  
 会員同士一つの家族のようにお互いに愛し合い、助け合って、  
 いつも明るく生き生きと人生を生き抜き、天国へ凱旋したいと願って…  
 …。

山内 ミハル



### 6月の強調月間 評価・計画

10の目標のうち、5割達成できれば上出来。さあ、あとひと月、あなたの目標達成度をあと1割引き上げましょう。実践を通して。

間もなく今期も終わろうとしています。荒川恭次ワイズから、この1年間の部の活動をまとめて、西日本区第3回役員会に報告したものを、最後の部長通信として出す方がよいとの助言を受け、そうさせて頂きました。中部各クラブの皆様には大変ご迷惑をおかけしましたが、どうにか第22回西日本区大会での部長報告を終え、柴田次期部長に部長バッジを引き継ぐことができ、肩の荷を降ろすことができました。ご協力を心から感謝申し上げます。

### 部長所感

メネット歴は長いのですが、夫の死去に伴いメンバーとなって間もない私が、クラブの諸事情のため部長を拝命したものの、あまり時間のゆとりのない仕事をもっていること、会員数が10名という弱小クラブであること、他クラブから遠く離れた陸の孤島にあること等、悪条件の中で、部長という重い職責を果たせるのか不安の中からの出発でした。

案の定、9月に中部部会と金沢クラブ創立70周年記念の式を行うために7月、8月、9月はその準備に追われ、10月～11月にかけて4クラブの部長公式訪問、11月に中部合同メネット会と第2回評議会を開催、12月～1月は職場の大きな行事が6件でほとんど毎週詰まっており、2月はの大雪。その後残り3クラブの公式訪問を終える事ができました。その間、各クラブ行事に参加する事ができなかったため、ニュース材料がなく、今までの部長さんが毎月出されていた部長通信も出すことができず…中部各クラブの会員の皆様に申し訳なく思っております。その中でも、西日本区4クラブの部会に参加できたことは私にとって大きな収穫となりました。

これらは予測されたことでしたが、唯一皆様に朗報をお届けしたいと思っていた富山クラブの立ち上げも今現在芽が出ていない状況で、まだ思うように渉ってはいないことが現在心残りとなっています。あきらめず根気よくチャーターナイトの日が来るよう支援続けたいと思っております。1年間激励と励ましを送っていただいた皆様に心から感謝いたします。

## 活動報告

今期はまず、9月18日（月・祝）に第21回中部部会と金沢クラブ創立70周年記念式典を金沢ニューグランドホテルで同時開催しました。会員の9割がキリスト教信者である当クラブとしては、日曜日の朝は予定を入れたくないということで、まず、前日夜に前泊していただいた方々とフェローシップアワーを楽しみました。大野理事のギターが雰囲気を盛り上げて下さり、西日本区の多くの役員の方々と共に楽しい一夜を過ごしました。当日午前は西ワイズのガイドで兼六園やその周辺にある金沢の名所を訪ね、午後から中部部会と金沢創立70周年の式典を開催。バナーセレモニー、礼拝、献金（熊本地震災害復興のために）の後、来賓祝辞の中で、金沢市長挨拶から、知られざる金沢の歴史に触れて頂くことができました。続いて西日本区ワイズ将来構想について、森田特別委員長の講話があり、続けて数ある金沢伝統工芸の中から加賀友禅作家の毎田仁嗣氏の講演。京友禅との違い、加賀友禅の奥深さと幅広さを知ることができました。全員で記念撮影の後、70周年記念式典、懇親会と続きました。親クラブである大阪クラブ副会長清水汎氏の祝辞、パワーポイントで金沢クラブ70年の歩みを見て頂いた後、藤舎真衣さんの横笛演奏から懇親会が幕開け。進藤啓介西日本区書記の乾杯の音頭に続き、会食。アトラクションにはDBCを結んでいる滋賀蒲生野クラブの一井ワイズと大野理事のギターが色を添えてくださいました。数日前から、台風接近のニュースが流れ、予定変更の声もある中での強行でしたが、台風は夜半から東に逸れ、直撃を免れて、明るい秋の日差しの中で、無事終了する事ができることは本当に感謝でした。

中部評議会は3回開きました。第1回は昨2017年5月に現・次期合同で名古屋で開催、2回目は11月に、金沢で合同ネット会と同日に開き、3回目は5月に現・次期合同で開催予定です。議事録については中部のホームページをご覧ください。

部報は2号まで発行いたしました。これも中部ホームページをご覧ください。

皆様のご協力に感謝します。

### 1. ヨサ・ユース事業

金沢地区	2017年11月	ながまちふれあいフェスティバル2017に企画・運営に参加
	12月	街頭募金
	2018年4月	たけのこ特別例会（たけのこ掘り体験）
三重地区	2017年11月	チャリティー ウォーク
	12月	クリスマス パーティー
名古屋地区	2017年7月	ワイズコーン販売
	7月	学童キャンプ
	8月	納涼バーベキュー例会
	8月	バスケットボール大会
	8月	日韓ユースセミナー
	10月	名古屋YMCA大会
	11月	チャリティーラン
	11月	チャリティー ゴルフ（学童キャンプ支援）

12月 クリスマスカード コンテスト  
12月 クリスマス キャロル  
2018年3月 リーダー感謝会  
3月 春のウォーキング  
4月 「名古屋Y M C A日本語学院」開校

## 2. 地域奉仕・環境事業

中部部報第1号で吉田由美事業主任（大阪なかのしまクラブ）の事業方針を伝え、同時に各クラブが行っている地域奉仕活動の継続をお願いすると共に、地域奉仕活動の献金ゼロクラブを無くそうとアピールをしました。

11月に金沢で開催された中部評議会に於いて地域奉仕・環境事業より申請を行えば、西日本区から資金の補助が得られる制度についてその方法を説明しました。

2月に入り、西日本区への各種献金の締切が3月15日であることを知らせ、地域奉仕・環境事業部門での一人当たりの目標額と、対象会員数が前期半年報の人数であることを伝え、尚且つ、西日本区の払込取扱書を同封し献金ゼロを呼びかけました。

また、東日本大震災を追悼するための「揚がれ希望の凧」を機会に始まった震災支援ウォーキングは第7回を迎え、今年も名古屋地区のワイズメンズクラブが主催し、3月24日に開催され、参加費約3万円は、名古屋グランパスクラブの「東北支援ツアー」に託して、被災地のY M C A、ワイズメンズクラブに届けました。

6月の西日本区大会で配布される資料に、中部各クラブが地域奉仕・環境事業の献金が100%達成されることを願っています。

## 3. E M C事業

中部E M C主査が病気で長期入院中の為、活動が滞ってしまいました。名古屋クラブの谷川会長が代行を務められることになり、5月19日にE M Cシンポジウムが開催されることになりました。三科事業主任が参加してくださいます。

## 4. 国際・交流事業

2017年11月 名古屋グランパスクラブ D B C例会  
2018年3月 名古屋クラブ I B C, D B C交流会

## 5. メネット事業

2017年11月18日（土）～19日（日）、金沢の湯涌温泉「お宿やました」で、中部合同メネット会が開催されました。神戸クラブより中道メネット主任と6人のメネットさんその他、西日本区役員の大野理事、進藤書記、遠藤次期理事、更に中部評議会に出席された方々の参加を得て、にぎやかに開催することができました。今期のメネット国内プロジェクトの事業方針である「子どもの貧困」について学ぶべく、「金沢・能登フードバンク」代表の津田たまえ氏を講師に招いて講演していただきました。

講師ご自身も重度の障害者でありながら、フードバンクの支援活動に長年携わってこられました

が、大きな施設への支援ではなく、目に見えないところで生活困窮に陥っている家庭、その子どもたちを支援するために、3年前現在の「N P O 法人フードバンク金沢・能登」を立ち上げ、代表としてボランティアの人たちと共に支援活動をしていらっしゃいます。講演を通して、この地域で知られざる子どもたちの貧困の状況を知ることができました。「フードバンクはなくなることが一番幸せなこと」しかし、6人に1人が貧困という現実に無関心であってはならないと、改めて今後のメネット活動にどう生かしていくかを考える機会となりました。

夜の懇親会では、久しぶりに温泉でゆっくりくつろいで、美味しい料理と美酒に酔い、夜が更けるまで楽しい交流の輪が深りました。

子どもをサポートしている地域団体の支援については、名古屋Y M C Aが昨年より開催している「学童キャンプ」が所得に応じて参加費を全額、または半額補助しているとのこと、子どもの貧困に対する支援活動でもあり、全国でも名古屋Y M C Aが初めての取り組みとのことです。メネット支援金の額によっては大きな寄付は期待できないかも知れませんが、今後のメネット支援事業として定着することを願っています。